



ゆうがく

2022年度の年頭、「人生について思索する」

「人生二度なし。これ人生における最大最深の真理なり」と、国民教育者であり、哲学者の森信三氏は述べています。

古代中国に端を発する自然哲学の思想に「五行説」があります。この五行の色と四季を合わせて、青春、朱夏、白秋、玄冬の言葉が生まれたそうです。これを人生に例えると青年期は「青春」、30代から40代は「朱夏」、50代から60代は「白秋」、晩年期は「玄冬」。

65歳から始まった我が第二の人生、これから「玄冬」です。最近、「今までの人生とは何であり、これからの人生をどう生きるか」とフト考えることがあります。10代半ばからの「青春」には、「生きるとは何か」を思索しました。この時期、シュバイツァー博士の「生命の畏敬、生きることに価値がある」を学びました。「朱夏」から「白秋」への28年間の大学教員時代、前半は教育・研究に専念、後半は学部や大学の管理運営に従事した日々。仕事に時間の大半を費やし、「人生について」考えることが少ない時期でした。「玄冬」に向かう今、時間的な余裕が「人生とは何か」という本質的な命題を思索させます。

27歳で京セラを創業し、78歳からの3年間でJALを再生した稲盛和夫氏は、「人生の目的は、世のため人のために生き、愛と誠と調和に満ちた美しい心を作り、魂を磨き人格を高め、人間性を

豊かにすることである」と教えています。また、渋沢栄一氏は、「天意夕陽を重んじ、人間晩晴を尊ぶ」を晩年に好んで揮毫したそうです。これは、「太陽は一日中働き、沈む瞬間に鮮やかな光を放つ。夕陽があんなに美しいのは、天がそういう生き方を賞賛しているからである。人間もまた夕陽のように、晩年になればなるほど晴れ渡り、残照で周囲を照らすような生き方がよい」との教え。

「天意夕陽を重んじ、人間晩晴を尊ぶ」を目指し、「世のため人のために生き、魂を磨き人格を高め、人間性を豊かにすること」を胸に、これからの人生を楽しみたいと思います。皆さんも忙しい日々、ちょっと立ち止まり今までの人生を振り返り、これからの人生について思索してみても如何でしょう。「人生二度なし」です。

山形学習センター所長

安田 弘法





令和3年度 第2学期学位記授与式を開催しました

「令和3年度第2学期学位記授与式」を令和4年3月27日(日)に山形学習センター講義室において開催しました。今回、本センターからは、教養学部25名、大学院文化科学研究科3名の皆さんが学位を取得されました。当日は、出席された14名の方々に、安田弘法所長から、お一人お一人に学位記が手渡されました。放送大学では、全てのコースを修了された学生について、「放送大学名誉学生」の称号を付与する制度があり、この度、伊藤典子さん、斎藤貞治さん、高橋多美子さんに授与されました。また、山形学習センターでは、卒業時に特に優秀な学業成績を修められた学生について、顕彰しており、今回は、3つ目のコースを卒業された熊谷 均さんが「生涯学習奨励賞」を受賞されました。安田所長の式辞では、卒業生並びに修了生に対し、卒業、修了まで長年にわたりご努力され、学位を取得されたことにお祝いとお褒めのお言葉がありました。

【教養学部】

生活と福祉コース	3名
心理と教育コース	11名
社会と産業コース	2名
人間と文化コース	5名
情報コース	4名

【大学院文化科学研究科(修士課程)】

人間発達科学プログラム	2名
人文学プログラム	1名



学位記授与式を終えての集合写真



卒業・修了者体験談

修了体験談

大学院修士課程 人間発達科学プログラム 黒沼 誠さん

2年間の在学中は、まさにコロナ禍の真っただ中でした。リモートでの研究指導や授業の聴講がはじまりました。授業の聴講は、朝の時間にインターネットを通して行いました。一コマ毎、知れば知るほど各分野の奥深さを知りました。テキストに載っている研究課題には、十分取り組むことができなかった分、これからの学習へのヒントがつかっています。

研究指導では、メールやリモートでのやり取りで論文の執筆を行いました。先生からの指導は研究の道標となりました。また、リモートで全国の同級生とともに進捗を発表し合う時間は、とても貴重なものでした。

実際に会っての授業はできませんでしたが、ステイホームの期間に学習に専念することができました。これからも学習を進めていくときの可能性を広げることができた2年間だったと思います。指導していただいた先生方、学校関係者の皆さん、ともに学んだ同級生、そして、協力してくれた家族に感謝します。

修了の体験談

大学院修士課程 人間発達科学プログラム 高橋 玲子さん

大学院進学が決まった頃から新型コロナウイルスが猛威を振り始め、新入生のオリエンテーションは無くなり、ゼミも全てオンラインでの開催となりました。学生生活だけではなく研究も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、スケジュールの変更を余儀なくされましたが、担当教授からの的確な指導やゼミの皆さんからの様々なアドバイスを頂戴しながら何とか研究をまとめることが出来ました。1つの研究を完成させたことで新たな疑問も生まれ、今後も研究活動を続けていきたいという意欲も芽生えております。

放送大学ではこのような状況下でも支障をきたすことなく、且つ、感染のリスクも避けながら勉学に取り組むことが出来たことを心より感謝しております。

ゼミの皆さんと一度も直接お会い出来なかったことは心残りですが、様々な職業や立場の方々との交流によって新しい発見も多く非常に充実した2年間となりました。本当にありがとうございました。

古流薙刀術の伝承を目指して

大学院修士課程 人文学プログラム 佐藤 孝子さん

私は半世紀にわたり武道「なぎなた」に携わってきましたが、国内だけでなく海外での普及活動や世界大会の審判等も経験する中で、開祖齋藤判官伝鬼坊より凡そ450年間、脈々と受け継がれてきた古武道である天道流(天流)兵法薙刀術を正しく伝承する必要性を強く感じるようになりました。そのため2018年に放送大学に入学し、同薙刀術が日本の歴史の中で女子教育に果たした役割の変遷と日本固有の文化遺産的価値について、美田村邦彦著『大日本薙刀道教範』に基づいて考察研究しました。

人文学プログラムは、新しい学問分野への挑戦でした。途中で体調不良になって挫折しかかりましたが、担当教授の叱咤激励やゼミの仲間の温かい応援を受け、これまで口伝のみだった45本の技の説明を付して、目的とする論文を書き上げ修了することができました。

4年間多くのことを学ばせていただき関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

卒業体験談

情報コース 伊藤 典子さん

約18年前山形学習センターにお世話になり、この度全6コースを卒業させていただきました。友人の「一言」が切っ掛けで、この学び舎に足を踏み入れ、藤野祐一先生の面接授業(音楽)を体験し、この様な素晴らしい処が有る事を知りました。科目の取り方で悩んでいると、学生控室にはいつも諸先輩がおられ、事務の方々にも教えていただきました。興味のあるものからスタートしましたので、後には四苦八苦、じたばたの卒業でした。面接授業は、岩手、宮城のセンターにも行き、その土地に根差した講義を受けることもできました。

学生サークルや各地への修学旅行、学友との交流(時には飲み会)等。同窓会では、郡山や地震一週間後の札幌、Zoomでの会議等。楽しい思い出が次々と巡ってきます。

ここでの学びを心に留め、これからも自分の知りたいを探す旅に出発したいと思っております。皆様ありがとうございました。

学びは楽しい

情報コース 斎藤 貞治さん

社会人となって以来、学生時代の不勉強を悔やみ、いつか一から勉強し直したいと思って過ごしてきた60歳の節目。全科履修生「産業と技術専攻」に入学し基礎科目から学ぶことにした。いざ学び始めてみるとこれまで社会人として蓄積してきた知識や経験が役に立ち、どの教科もすんなりと頭に入ってくることにびっくり。学歌にある「**学ぶことの楽しさと、知ることの喜び**」を実感し、生涯学習やリカレント教育の有用性を知ることが出来た。

当初とはし気味の科目選択だったので、エキスパート(EP)制度が出来た時、縦糸はコース卒業、横糸はEP取得と位置付けて継続入学を繰り返した結果、17年の学生生活で1専攻・6コースを卒業、14EPを取得することが出来た。これからも「**一生勉強! 一生青春!**」をモットーに学びを継続していきたいと思っている。

最後にこれまで私のわがままな学生生活を支えてくれた家族や会社の仲間、そして学びでの先生方、センター職員の皆様、学生諸兄に厚くお礼を申し上げます。

卒業体験談

社会と産業コース 熊谷 均さん

今回で3回目の卒業となります。私のこれまでの勉強のやり方を振り返ってみると、レポート提出前と試験前の各2週間程度の期間に集中して勉強するということの繰り返しでした。

1章を1週間で消化すれば4か月で終えることができる訳ですが、緊張感を持続するのが難しく、初めの方を忘れてしまっていることも多々あり、これよかったです。

ただ、出題が論文形式の教科の場合、そもいかに自分で想定問題を作り検討するなど多少時間をかけておりました。自分で文章を書くという作業は大変であります、その分、脳が活性化する実感がありました。高橋和夫先生の講義が素晴らしいことは勿論ですが、そういう意味からも、「パレスチナ問題」は特に印象に残っている教科となりました。

幸いにも、将来のため、就職のための勉強はする必要がない歳となっていますので、新たなことを知ったり、様々な見方・考え方に会い、刺激と喜びを得る場として次のコースに挑戦しようかと思っています。



令和4年度 第1学期入学者の集いを開催しました

令和4年4月10日(日)に山形学習センター講義室において「令和4年度第1学期入学者の集い」を開催しました。

安田弘法所長から、入学者の皆さんにお祝いのあいさつがありました。

その後、センターの利用方法や修学上の注意事項等について、詳細な説明を行いました。

最後に、当センターに所属する4つのサークル(ゆうがくの会、パソコン教室、国文学を読む会、書道サークル)の代表者から、各サークルの紹介と入会のご案内がありました。

当日は、対面10名、オンライン(Zoom)13名の計23名の出席がありました。



令和4年度 山形学習センター客員教員紹介



近藤 慎一

山形大学学術研究院 教授
(理学部担当)
専門:有機化学、分子認識化学

ロシアのウクライナ侵攻だけが原因ではありませんが、資源の高騰やサプライチェーンの混乱が、これからの生活に関わってきそうです。こんな時代だからこそ、今までと異なる分野へも知見を広げてみてください。学習相談などがその一助となれば幸いです。



佐藤 寿晃

山形県立保健医療大学 教授
専門:リハビリテーション学、作業療法学

客員教員をしております佐藤寿晃(さとうとしあき)と申します。2年目になります。

専門分野は、リハビリテーション学、作業療法学全般です。今年の「学びのサロン」では「生活を支える福祉用具・住環境整備」を担当します。興味がありましたら、是非ご参加ください。



藤田 洋治

元 山形大学学術研究院 教授
専門:古典文学、国語教育

日々の暮らしの中で、何かを注目すると、意外な発見があったりします。発見というと大げさなのだが、新たな知識が増えるのは楽しいものだと思っています。そんなふうに日々を送れば、退屈なことがずっと少なくなる気がしています。



荒木 志伸

山形大学学術研究院 准教授
(学士課程基盤教育機構)
専門:日本考古学

4月より客員教員となりました。専門は考古学です。東北地方の奈良・平安時代の出土文字資料や、山寺立石寺・出羽三山・松島瑞巖寺等で石造文化財等が研究テーマです。皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。



関口 雄一

山形大学学術研究院 准教授
(地域教育文化学部担当)
専門:教育臨床心理学

はじめまして。私は心理学を専門としています。心理学は高校までの科目には通常含まれていないため、イメージしにくい学問かもしれません。まずは、学びのサロンなどで気軽に心理学に触れていただく機会を作りたいと考えています。



千葉 登

山形県立保健医療大学 准教授
専門:リハビリテーション学、
身体障がい作業療法学

4月より、客員教員として参りました千葉登と申します。20数年前には選科履修生として、一昨年まで5年間客員教員として放送大学に関わってきました。皆さんの学習に少しでもお役に立てればと思います。よろしく申し上げます。



半田 直子

山形県立保健医療大学 准教授
専門:看護技術、家族看護

はじめまして。4月から客員教員となりました。専門分野は看護学です。主に看護技術や家族看護を専門としています。学習を進める中で疑問などあれば、皆様と一緒に考え、学びを深めるお手伝いできればと思っています。



GLOAG David Douglas

山形大学学術研究院 准教授
(学士課程基盤教育機構)
専門:実践英語

Nice to meet you! I'll try hard to answer any questions you have about the English language and British culture!

Please join the 「Manabi no Salon」 and enjoy pressure-free conversations. I look forward to meeting you.



安田所長の『ワクワク情報の小窓』

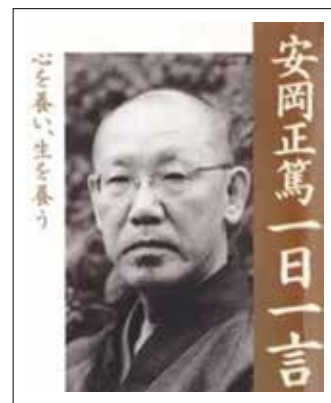


『ワクワク情報の小窓』は、山形学習センター(山形SC)が目指す3つのセンターのうち「人間学の学びのセンター」に関連する情報を中心に紹介します。今回は、「人間学:安岡教学に学ぶ(3) 時変と人物」と「市民講座:シリーズ人間学を学ぶ」第2回、タカハタ電子安房毅会長のご講演の一端及び今後の市民講座の予定等を記します。

【人間学:安岡教学に学ぶ (3) 時変と人物】

人間といふものは平常無事の際はどうかかして済むものであるが、おや!といふことが起ると、案外うろたへるもので、「変に処して動ぜず」とはなかなかむつかしいことである。政治家の真価は事変に処して定まると云ふ。政治家に限らず、人間は凡て変に逢うて一番能く平生の心がけと修練がわかる。この頃の日本の有様はロッキード事件を始めとして、何といふ騒ぎであらう!誠に以って浅ましいことである。責める世間も責められる方も常規を逸してゐる。もつとどっしり、きびきび、さっさとかたづけられる様でなければならない。それでなければ大国とか文化などと言へたものではない。何事があつてもうたへず、きびきびさばいてゆけるといふものを「平常心是道」といひ「尋常の覚悟」といふ。これのできた人物が沢山出てこないかぎり、日本は治まるまい。今秋から来年がこの日本の正体と運命のはっきりする時節である。

(安岡正篤著、『郷研清話』、「時変と人物」より)



「変に処して動ぜず」、「平常心是道」、重要な教えます。この教えを心がけ、日々の生活を楽しみ精進したいと思います。

安岡先生は、時事にふれ、思想を語り、同人の消息等を一枚の葉書に記し、全国の同人に郵送されました。これが語録集『郷研清話』。今回の「時変と人物」は、昭和51年8月に記述。原文を尊重し旧仮名遣いで掲載しました。

【市民講座 第2回 タカハタ電子会長 安房 毅 氏「良き人生とは 佳き人との 出逢である」】

時代の流れと共にモノ創りの概念も変化したが、変わらないものは「モノ創りはひと創り」、「ひと創りはゆめ創り」。この一貫した考えでモノ創り一筋40余年、「タカハタ電子」安房会長。シャープのトップとの出逢い等を通じ3000億円の売上企業に成長。しかし、その後、会社倒産の危機にも直面。さらに、アラスカ、リダウト山上空を飛行中、噴火で搭乗機が墜落寸前の事故。これも含め人生で3回「生命の危機」に遭遇。数多くの修羅場を経験された安房会長、安房語録の一部を紹介します。

「自分を磨くには、自分の師匠に恵まれることである。佳き仲間巡り会い、佳い家族を作る」。「新しいことをやるときは誰でもひるむ、一歩踏み出す勇気が必要。チャレンジして初めて失敗する。失敗するから成功もある。人生は、情熱、挑戦、勇気が必要」。「人と人とのふれあい、良き人生とは、佳き人との出逢いである。出逢いは掛け算で伸び代は無量大である」。ご講演では、これまでの人生の一端を紹介されました。心に残る講演、安房会長に感謝です。

【市民講座:シリーズ人間学を学ぶ 予定等】

- [第1回] 11月27日 放送大学山形SC所長 安田 弘法 「大学改革から学ぶ人間学」
- [第2回] 3月26日 タカハタ電子会長 安房 毅 氏 「良き人生とは 佳き人との 出逢である」
- [第3回] 5月28日 元山形大学理事・副学長 大場 好弘 氏 「最大の危機こそ最良のチャンス」
- [第4回] 7月 2日 山形大学客員教授(NECノート型パソコン作成者) 柴田 孝 氏
- [第5回] 8月上旬 Bマインド代表取締役(元資生堂執行役員常務) 関根 近子 氏



2022年度 第1学期Web受験方式 単位認定試験について

2022年度第1学期単位認定試験は、Web受験方式にて実施します。

システム「WAKABA」内に『体験版』が準備されていますので、必ず事前に体験し、操作方法・パソコン・通信回線等を確認しておいてください。

山形学習センターでは、「学習センターでの受験」を申請した方またはWeb単位認定試験操作が不安な方を対象にしたWeb単位認定試験に係る操作研修会を下記の日程で開催します。必ずご参加ください。

1 Web単位認定試験体験版の操作研修会

- 日 時 【第1回】6月23日(木) 14:00～16:00
【第2回】6月25日(土) 14:00～16:00
【第3回】7月 3日(日) 14:00～16:00
【第4回】7月 6日(水) 14:00～16:00
- 場 所 山形学習センター講義室(各回 定員10名)
「学習センターでの受験」を申請した方が優先となります。
- 内 容 パソコンの基本操作、Web単位認定試験体験版の操作実習
- 申込み 山形学習センターまで、電話・メールでお申し込みください。
(TEL 023-646-8836 メール ymg-sc@ouj.ac.jp)

不安なことがあれば、
いつでもご相談ください



6月21日～7月12日

個別体験の可能なパソコンを配置します。ご利用ください。(事前予約制)

2 実施方法概要

◎ Web受験方式

- ・ 自宅等から、インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
- ・ 1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)
- ・ 科目ごとに「択一式」、「記述式」、「併用式」のいずれかの形式で出題されます。

- 〈 解 答 方 法 〉 「 択 一 式 」 → 選択肢をクリックして解答します。
「 記 述 式 」 → 解答記入欄に文字を入力して解答します。
「 併 用 式 」 → 上記を併用して解答します。

- 〈 パソコンの推奨環境 〉 【 O S 】 Windows8.1、10、macOS(最新から2バージョン前まで)
【ブラウザ】 Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla、Fire Fox、Safari

3 2022年度第1学期 試験日程

◎ Web受験方式

- 試験期間 7月15日(金) 9:00～7月26日(火) 17:00

配架終了した図書(印刷教材・雑誌)の展示・配布について

今年も、配架終了図書(印刷教材・雑誌)等を下記の予定で展示・配布します。図書等の取得を希望される方は、事前に電話等で来所日・時間をご予約の上、ご利用くださるようご案内いたします。

(7月12日から受け付けます)

- 期 間 令和4年8月2日(火)～8月16日(火)※月曜・祝日除く
- 時 間 11:00～16:00
- 場 所 山形学習センター 101教室
- 予約期間 令和4年7月12日(火)～7月26日(火)
- 留意点 3密を避けるため、利用は一人のみ、滞在時間20分とします。

令和4年度 卒業研究履修・大学院修士課程 ガイダンスの開催について

「卒業研究の履修」、「大学院修士の学位取得」は、キャリアアップを目指したい・専門的な知識をさらに体系的に学びたいといった志向・意欲に応える重要な教育課程です。

学生の皆さんの学習や履修・受験の準備、文章表現やプレゼンテーション能力の向上の一助となるよう、ガイダンスを下記により開催いたします。

是非、皆さんもチャレンジしてみませんか。

- 日 時 令和4年7月9日(土) 14:00～15:30
- 場 所 山形学習センター 101教室
- 内 容 (1) 卒業研究履修について概要説明
(2) 大学院修士課程について体験発表

ウェブサイト、キャンパスメールの積極的なお願い

ウェブサイト

放送大学ウェブサイト、山形学習センターウェブサイトでは学生生活に関わる最新情報をお知らせしています。感染症や災害等、緊急の連絡はまずはウェブサイトに掲載されますので、一週間に一度程度はご確認ください。

キャンパスメール

放送大学では、学生全員にメールアドレスが割り振られます。大学から修学関連の連絡を随時送信しますので、定期的に確認してください。なお、本学に在籍しなくなると使用停止となり、送受信の記録は消去されます。

キャンパスメールに届いたメールを、普段利用するメールアドレスに自動転送する方法については、システムWAKABA「キャンパスライフ⇒附属施設・情報システム」にてご案内しています。

キャンパススケジュール 〈令和4年〉 6・7・8月

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

-
- 6/4[土]・5[日] 面接授業(佐藤博晴先生・佐藤学先生)
-
- 4[土] 学びのサロン(千葉先生:10時30分~11時30分)
-
- 5[日] 学びのサロン(佐藤寿晃先生:13時30分~14時30分)
-
- 9[木] 学びのサロン(藤田先生:11時~12時)
-
- 10[金] 第2学期学生募集要項配布(第1回出願受付~8/31)
2022年度修士全生募集要項配布(~8/26)
-
- 11[土]・12[日] 面接授業(菅藤先生・安田淳一郎先生)
-
- 18[土]・19[日] 面接授業(安藤先生・山田先生)
-
- 21[火] 学びのサロン(Gloag先生:10時30分~12時)
-
- 25[土]・26[日] 面接授業(佐藤智先生)
-
- 30[木] 学びのサロン(安田弘法所長:15時~16時30分)
-

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

-
- 7/2[土] 学びのサロン(関口先生:10時30分~11時30分)
市民講座:人間学を学ぶ(柴田孝氏:13時30分~15時)
-
- 3[日] 学びのサロン(佐藤寿晃先生:13時~14時)
-
- 9[土] 卒業研究・大学院説明会
学びのサロン(半田先生:13時~14時)
-
- 14[木] 学びのサロン(近藤先生:14時~15時30分)
-
- 15[金]~26[火] 単位認定試験
-

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

-
- 8/2[火]~16[火] 雑誌等配布
-
- 6[土] 学びのサロン(千葉先生:10時30分~11時30分)
-
- 7[日] 学びのサロン(藤田先生:11時~12時)
学びのサロン(佐藤寿晃先生:13時~14時)
-
- 20[土] 学びのサロン(Gloag先生:10時30分~12時)
-
- 27[土] 学びのサロン(安田弘法所長:15時~16時30分)
-

- 閉所日
 → 利用者限定
 → 学びのサロン

すべてのお問合せ・資料請求・お申込みは

▶ インターネットでも出願や資料請求(無料)ができます! www.ouj.ac.jp

放送大学

検索

〒990-8580 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル10階

放送大学山形学習センター

TEL 023-646-8836 FAX 023-646-8838

E-mail ymg-sc@ouj.ac.jp

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamagata/>

